

財団法人ベルリン日独センター

共催機関

登録協会世話裁判所議会

一般社団法人日本成年後見法学会

日程案

国際シンポジウム「成年保護制度」 日本成年後見法、ドイツ世話法、他

2016年9月12日(月)

ベルリン日独センター

Japanisch-Deutsches Zentrum Berlin, Saargemünder Straße 2, 14195 Berlin, Germany

9.15 h 開場、参加者の受付開始

国際シンポジウム「成年保護制度」

会議用語: 日本語およびドイツ語(同時通訳付き)

9.30 h

開会の辞

フリデリーケ・ボッセ(Dr.、ベルリン日独センター事務総長)

新井誠(Prof. Dr.、日本成年後見法学会理事長、中央大学法学部教授)

フォルカー・リップ(Prof. Dr.、ゲオルク・アウグスト大学ゲッティンゲン教授)

祝辞

ベアーテ・キーネムント(独連邦司法消費者保護省、民法担当局長)

10.15 h

第1部: 代理人・代行者による意思決定 (*substitute decisionmaking*)

司会: フォルカー・リップ(Prof. Dr.、ゲオルク・アウグスト大学ゲッティンゲン教授)

基調報告(20分) 法定世話法における代替意思決定 (*substitute decisionmaking*)

ダグマー・プロゼイ(Prof. Dr.、ケルン工科大学教授)

ステートメント(各自10分)

成年後見——意思決定支援 (*supported decisionmaking*) だけでは保護できない現実を抱えて

池田恵利子(日本成年後見法学会副理事長、社会福祉士)

実質的自己決定の尊重と意思決定支援 (*supported decisionmaking*) の制度化

朴仁煥(Prof. Dr.、仁荷大学法学専門大学大学院教授)

ステートメント題名照会中

黄詩淳(Prof. Dr.、国立台湾大学法律学院副教授)

全体討議

12.00 h

昼食

13.00 h

第2部:一元的制度か多類型の制度か

司会:大貫正男(日本成年後見法学会副理事長、司法書士)

基調報告(20分)

成年保護——ドイツ型一元的制度か日本型多類型の制度か

新井誠(Prof. Dr.、日本成年後見法学会理事長、中央大学法学部教授)

ステートメント(各自10分)

ドイツ世話法における一元的制度——その長所と短所

ペータ・ヴァンターシュタイン(元高等裁判所副長官)

日本の法定後見における類型主義の問題点

赤沼康弘(日本成年後見法学会副理事長、弁護士)

韓国の世話システムにおける類型主義の問題点

諸哲雄(Prof. Dr.、漢陽大学校法学専門大学院教授)

ステートメント題名照会中

戴瑀如(Prof. Dr.、国立台北大学法律学院副教授)

全体討議

15.00 h

休憩

15.30 h

第3部:ネットワーク活動

司会:アンドレア・ディークマン(Dr.、ベルリン州裁判所副長官)

ステートメント(各自15分)

法的世話制度におけるネットワーク——超地元的なネットワーク、地元のネットワーク、ボランティアのネットワーク

シュテファン・ジークシュ(オシエルスレーベン世話協会専任理事)

クラウス・ゲルツ(シュトゥットガルト世話担当庁所長)

ネットワーク活動

高橋弘(日本成年後見法学会常任理事、司法書士)

韓国における任意世話人のアンケート調査結果

崔允永(Prof. Dr.、白石大學校社會福祉學部教授)

台湾における成年後見制度の社会支援ネットワーク

鄧学仁(Prof.、中央警察大学法律学系教授)

全体討議

17.30 h

閉会の辞

18.00 h

レセプション

xx.xx h

ベルリン日独センター発、ホテル(Seminaris CampusHotel Lifestyle + Design Berlin)行き(借上げバス)